

1) システムの名称 :

検像システム XTREK QA (エクストレック キューエー)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

5. 画像検査系 (PACS)

3) 特色 :

XTREK QA は、フィルムレス画像診断における真正性と見読性を提供する検像システムです。検査装置から送られてくる膨大な画像を確実に精査し、正しい検査画像のみを他システムへ配信します。検査/シリーズレベルでの画像の分離/統合/再配列、DICOM タグの変更、各種画像処理に加え、自動検像、線量指標であるエクスポージャー・インデックスにも対応。フィルムレス運用を効率化させる機能を搭載しています。

■プリセット登録可能な DICOM タグ編集機能

MWM (Modality Worklist Management) の情報を元に、オーダー情報と画像情報の照合や修正、任意の DICOM タグ編集（追加、修正、削除）が可能です。DICOM タグの編集では、複数の DICOM タグに対する修正値をプリセットとして登録でき、省力化や入力ミスを防ぐことができます。

■画像の分割/統合/並べ替え、自動検像機能

画像のシリーズ分割や統合、並び順変更や、イメージ番号の振り直しが可能です。また、自動検像機能では、MR の In Phase/Out of Phase の自動分離、ダイナミック CT の Phase 単位のシリーズ自動分割、特定タグ条件での検査/シリーズ分割等も可能です。

■EI (Exposure Index) によるアラート機能

従来の S 値によるアラート表示に加え、蓄積した EI 値を元に最適な EIT 値を設定することで、DI 値によるアラートを表示することができます。EIT 値の設定は、蓄積された EI 値のヒストグラムから直感的に設定可能です。

■自動転送機能

スムーズな業務ワークフローを構築するため、作業終了後の画像を PACS サーバーやワークステーションなど、送信先を複数設定し、自動で転送することができます。またモダリティ毎の設定や、サーバーへの転送間隔を日中/夜間で変える設定をすることもできます。

■PDI インポーター機能

他院から持ち込まれた CD や DVD の画像データを院内サーバーに登録することができます。登録時に、MWM サーバーで保管されている患者情報、検査情報を検索、照合して DICOM タグに反映させたり、一般画像ファイル (JPG/BMP/PNG/PDF 等) を別シリーズとして追加し、院内サーバーに登録することも可能です。

■健診 ID マッチング機能

施設内健診システム DB を使用し、DICOM タグの検査日と健診 ID でマッチングすることで、患者 ID を統一することができます。

■セキュリティ機能

操作を行う権限を「通常ユーザー mode」「管理者 mode」のようなレベルを設定することができます。また、検査時の操作ログとして、「いつ/誰が/どのような」の操作を行ったか、確認できるログ保存機能を有しています。ログは各端末からの検索や CSV ファイルへの出力もできますので、表計算ソフト等で容易に集計が可能です。

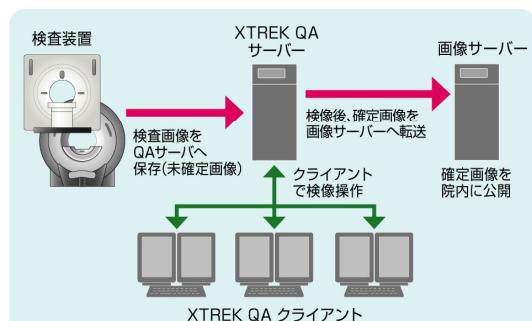
4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :

XTREK QAシステムフロー

スタンドアロンタイプ



サーバータイプ





5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無 :

[データ交換規約] DICOM (Ver. 3.0) : Verification (SCU/SCP)、Storage (SCU/SCP)、Query/Retrieve (SCU)、MWM (SCU)、StorageCommitment (SCP)

- [標準化未対応の対応可否および追加費用] DICOM は標準対応、未対応の場合 : 対応可(個別対応) 追加費用:有
- ・HS009 IHE 統合プロファイル「可搬型医用画像」およびその運用指針
 - ・HS011 医療におけるデジタル画像と通信 (DICOM)

6) 動作環境 (ソフトの場合)、ハードスペック (ハードの場合) :

【サーバー構成】

対応 OS : Windows Server 2012 (R2 含む)、Windows Server 2008 R2

CPU : クアッドコア Xeon 以上 メモリ : 16GB 以上

HDD : 300GB 以上の空き容量 (DICOM 画像保管用のディスク空き容量が別途必要)

モニター : 1024×768 以上/32bit カラー

ネットワーク : TCP/IP 通信が可能なネットワーク (100/1000 BASE-T 対応ネットワークカード)

データベース : Oracle11g

【クライアント構成】

対応 OS : Windows 10、Windows 8.1/Pro、Windows 7 Ultimate/Professional/Home Premium、

Windows Vista Ultimate/Business/Home Premium/Home Basic (Sp2)

CPU : Pentium 4 2.8GHz (32bit) 以上または 64bit プロセッサ ※クアッドコア Xeon 又は Core i5 3.4GHz 以上を推奨

メモリ : 3GB 以上 32bit 版 Win7/Win8.1/Win10 は 4GB、64bit 版 Win7/Win8.1/Win10 は 4GB 以上を推奨

HDD : 10GB 以上の空き容量

モニター : 1600×1200 以上/32bit カラー、128MB 以上のグラフィックメモリ、PCI-Express × 16 のグラフィックカード

ネットワーク : TCP/IP 通信が可能なネットワーク (100/1000BASE-T 対応ネットワークカード)

※ギガビットイーサーネット推奨

7) 稼動までに必要な作業・期間 :

病院担当者様及びモダリティ/HIS メーカ様と打合せ 通常 3ヶ月程度

8) 価格 :

7~8 枝 ※システム構成により異なります。別途お問い合わせ下さい

9) 保守の内容と費用 :

初期教育 : オペレーション説明、マニュアル配布

初期導入保守 : 運用開始時立会い

遠隔保守 : ルータ & 遠隔ソフトのセットアップ (電話回線工事費用は別途)

標準保守費用 : 6 枝~7 枝 (障害発生時、リモート/オンサイト対応) ※別途ハード保守あり

10) 問い合わせ先 (販売会社 担当者、URL、e-mail 等) および開発元 (もし別途あれば) :

問合せ先 : 株式会社ジェイマックシステム <http://www.j-mac.co.jp/>

〒060-0034 札幌市中央区北 4 条東 1 丁目 2-3 札幌フコク生命ビル 10F

TEL:011-221-6262 FAX:011-222-6260

営業部 E-mail:sales@j-mac.co.jp